

新型コロナウイルス感染症対策を確認して新年度を始めましょう

新型コロナウイルス感染症が国内で感染拡大してから、3度目の春を迎えます。新たな体制で新年度を始めるに当たり、始業日前に、感染症対策に関する以下の項目を全教職員で確認してください。

また、出勤前の検温と健康観察を引き続き実施し、咳、発熱、息苦しさ、喉の痛み、だるさなどの体調不良の症状が見られるなど、健康状態に不安がある場合は出勤せず、受診してください。

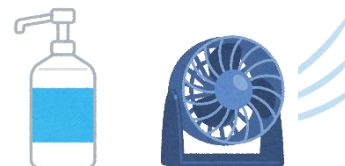
登校時の健康観察と、出欠状況の把握

- 児童・生徒等の登校時の体温チェックの方法（サーモグラフィ等を活用）
- 児童・生徒等の健康観察の確認方法（オンライン等を活用）
- 学校全体の児童・生徒等の出欠状況、陽性者・濃厚接触者の把握方法
- 1日で多くの陽性（5名が目安）が判明するなど、校内での感染拡大が懸念される場合の対応
- 教職員等の出勤時における健康チェックの方法



教室等の消毒、換気等の実施

- 消毒用の物品等の管理方法
- 校内施設、備品等の消毒のきまりと役割分担
- 教室、特別教室、更衣室等、学校施設の状況に応じた換気の方法（サーキュレーター、CO2 測定器等の活用）



始業式後、児童・生徒に指導する内容

- 不織布マスクの正しい着用（鼻出しマスク、あごマスクはNG）
- 毎朝検温、健康観察（咳、発熱、息苦しさ、喉の痛み、だるさ、頭痛、味覚障害・嗅覚障害など体調不良等の症状が一つでも見られる場合は登校せず、直ちに受診すること）
- 昼食時は対面形式にならないようにし、食事中は会話をしないこと
- 授業終了後は、寄り道・飲食等をせず、速やかに帰宅すること



部活動の留意点

- 学校の部活動に係る活動方針、部活動ごとの活動計画
- 健康観察の方法、部活動の特性に応じた感染症対策、換気の徹底、共用物の消毒等
- マスクの着用、部室・更衣室における密を避ける工夫など、生徒への指導等



学校運営の継続計画の確認

- 教職員の感染者や濃厚接触者が増えた場合、出勤できない者の割合に応じた役割分担等の計画

教職員等の新型コロナワクチン追加（3回目）接種

- 教職員は積極的な追加接種の対象であることを踏まえ、1・2回目接種完了から6か月以上経過し、追加接種を希望する教職員等は、できるだけ春季休業中に接種を済ませること



感染症対策等の詳細はこちら

新型コロナウイルス感染症対策と
学校運営に関するガイドライン
【都立学校】（東京都教育委員会）



学校における新型コロナウイルス感染症に
関する衛生管理マニュアル（文部科学省）

